



横浜労災病院 脳神経内科のご紹介



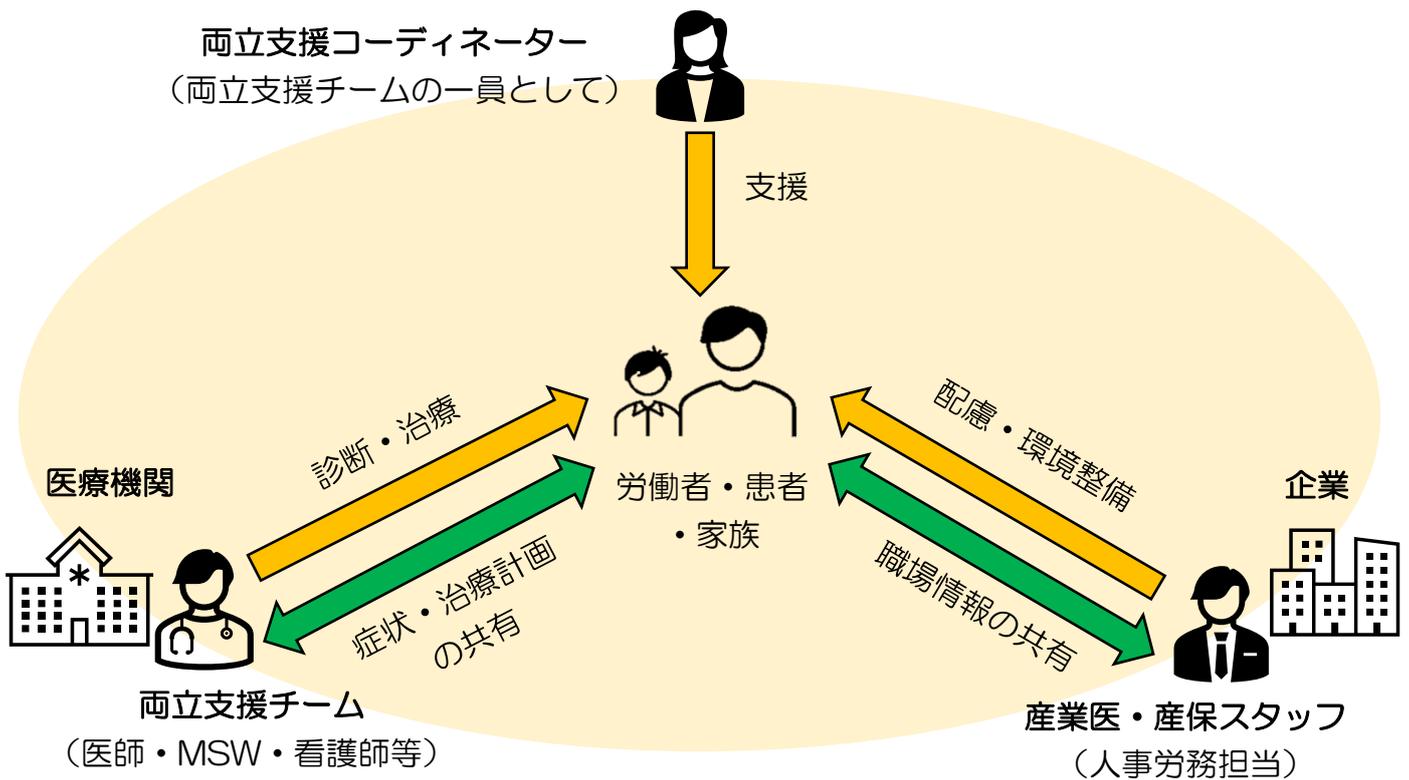
横浜労災病院 脳神経内科 診療スタッフ

患者さんの「働きたい」という気持ちに答えるために

当院では治療を受ける人の「働きたい」という気持ちに答えるため、治療と仕事の両立支援にも積極的に取り組んでおります。両立支援コーディネーターを中心として企業側と病院側とで文書などを使用して意見を交換し、患者さんの治療と仕事の両立を支援しています。当院は“みんなでやさしい明るい医療”を理念とし、脳神経内科でもそのような医療を提供したいと考えております。



働きたい気持ちに応える、神経難病治療と仕事の両立へ



労働者健康安全機構

労災病院

- ・ コーディネーター養成研修の開催
- ・ 両立支援事例の収集、アンケートの実施
- ・ 医療機関向けマニュアルの作成

産業保健総合支援センター

- ・ 両立支援窓口の開設（相談対応）
- ・ 企業向けセミナーの実施
- ・ 企業への個別訪問支援



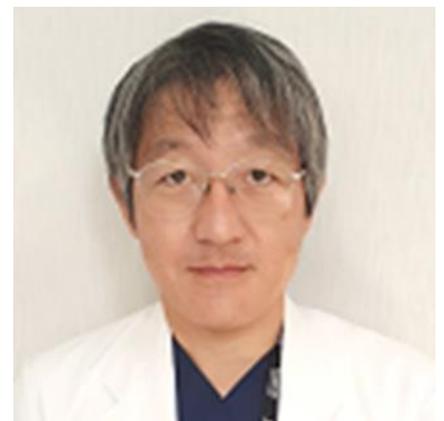
※ 数か月以上治療が奏功しない四肢末梢の筋力低下症例や、数か月以上 CK 異常高値が持続する原因不明の筋疾患症例がございましたら、是非お気軽に当院にご紹介ください。

最後に

横浜労災病院 脳神経内科・神経筋疾患部の中山 貴博（なかやま たかひろ）です。

脳神経内科では脳・脊髄の神経系から末梢神経の末端にある筋に至る様々な疾患について、急性・慢性に関わらず診療しています。

特に急性期疾患である脳卒中では、地域のかかりつけ医の先生方から発症時に紹介いただくだけでなく、連携して生活習慣病を管理していただくことで、慢性期の脳卒中再発を予防しています。また、パーキンソン病等の神経変性疾患についても、定期的な脳神経内科への受診と、かかりつけ医の先生方との受診を組み合わせることで診療して薬剤を調整し、患者さんが安心して治療を受けられるような体制をとっています。



中山 貴博
神経筋疾患部長